

特集

叡 広報たかやま  
Takayama



令和6年[2024]

2月1日発行

## 「令和6年能登半島地震」

被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。



輪島市での派遣職員の活動

1月1日、能登地方を震源に発生した最大震度7の地震は、能登地方を中心に甚大な被害をもたらしました。市内でも、最大震度5弱を観測し、大きな揺れを体感しました。

地震をはじめ、災害は予期せず 발생합니다。今号では、被災地支援などの取り組みや、地震に対する備えなどについてご紹介します。

問合せ 危機管理課 ☎35-3345



# みんなの力を合わせて 被災者支援の取り組み

国の要請により岐阜県内の自治体は、輪島市と中能登町などの被災地に職員を派遣しています。市では職員派遣の他にも、避難者受入相談窓口の設置などの支援に取り組んでいます。  
また、民間事業者や関係団体からのご支援や、市民の皆さまからの心温まる義援金も寄せられています。これからも、被災地の復興に向けた支援を続けます。

## 避難者用住居の提供

高山市へ避難を希望される方に市営住宅などを提供します。避難者の健康に関することや、保育園・小中学校の通園・通学、働く場所、避難中のペットの一時預かりなどの相談も受け付けています。

また、入居の準備が整うまでに時間がかかる場合は、市内事業者や団体の協力を得て一時的避難施設を用意します。

**入居期間** 3カ月(延長可)

**施設使用料** 無料

**光熱水費** 3カ月無料

**対象施設** 市営住宅15団地45戸および教員住宅2棟5戸

(1月25日現在)

**申込み** 先着順

※最新情報は市HP(QR)をご覧ください

**問合せ**

令和6年能登半島地震避難者受入相談窓口

(地域政策課内)

☎35-3184



1月20日(土)〜21日(日)に、輪島市で被災された方を市内の一時的避難施設「安房館(奥飛驒温泉郷平湯)」で受け入れました。

震災により輪島市の自宅が被災した60代の女性が、現在避難している群馬県内から輪島市の自宅へ荷物を取りに行く際に、長距離移動になることから、途中で高山市内の一時的避難施設を利用されました。

## 避難者の声

高山では暖かく迎え入れていただきとても感謝しています。心も体もゆっくり休めることができました。高山には知人もおり、何度も訪れている大好きな場所です。まだまだ大変なことは多いですが、命があっただけでも感謝しています。

地元を離れたくない人が被災地にはたくさんいますが、心身を休めるためにも少しの間、旅行のような感じで市外に避難することで気持ちが楽になるのではないかと思います。被災の状況を聞いてもらえたことでも、心が楽になりました。ありがとうございました。

## 被災地への職員派遣

高山市からは消防隊や市役所職員を現地に派遣しています(期間・派遣先)。

### ●消防隊派遣

- 緊急消防援助隊第1陣10人  
(1月1日～4日・穴水町)
- 緊急消防援助隊第2陣13人  
(1月4日～7日・輪島市)
- 緊急消防援助隊第3陣12人  
(1月7日～10日・輪島市)

### ●市役所職員派遣

- 被災建築物応急危険度判定士2人  
(1月9日～12日・能登町)
- 住家被害調査員2人  
(1月6日～9日・中能登町)
- 給水車支援職員7人(1月6日～8日・中能登町)(1月23日～26日・七尾市)
- (1月26日～29日・七尾市)
- 下水管渠被害調査員1人  
(1月8日～11日・中能登町)
- 避難所支援職員4人  
(1月22日～28日・輪島市)

### 派遣職員の声

消防隊は3回に分かれて35人が活動しました。現地では行方不明者の捜索活動や患者の転院搬送、消防隊の休憩用テント設置などを行いました。火事があった場所では火が消えたように見えても、崩壊した建物をかき分けると空気に触れ、再び火煙が上がることもありました。道路の崩落や亀裂で車両が思うように進まず、現場に早く入りたくても思うようにいかないもどかしさを感じました。



▲給水車による支援



▲応急危険度判定作業の様子

## 民間の支援

高山市へ避難される方が安心して来訪し生活できるよう、市内の事業者や団体などから協力いただき支援します。

### ●高山への交通手段

- 金沢、高岡、富山からの高速バス乗車券の無償提供
- 福祉車両による被災地からの送迎

### ●高山での生活

- 避難者用住居の準備が整うまでの間滞在できる施設(一時的避難施設)の提供
- 住居での生活必需品や家財道具などの提供
- 生鮮食料品などの提供
- 市内路線バスの無料化
- 新しい生活への不安や悩みなどへの相談
- 無料法律相談の開催
- ペットの預かり
- 高山での就労
- 就業先の紹介
- テナント店舗の無償提供

※1月25日現在の支援内容です

## 義援金の募集

被災者の方々を支援するため、募金箱を設置しています。お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じて被災地へ届けられます。皆様のご支援をお願いします。

期間 12月27日(金)まで

場所 本庁、各支所

問合せ 福祉課 ☎35-33356



▲本庁ではインフォメーション前に設置しています

地震発生から1カ月が経過しましたが、被災地では元の生活とはほど遠い状況が続いています。募金、高山市で行っている支援情報の拡散、そして今後いつ起きかわからない地震への備えなど、現地へ行かなくてもできることがたくさんあります。市民の皆様のご協力をお願いします。

# 今回の地震の際、どんな行動をしましたか？ いざという時に備えましょう

災害はいつでもどんな規模で起こるか分かりません。今回の地震では高山市は幸いにも大きな被害はありませんでしたが、いざという時に備えて意識を高めることが大切です。事前に備えておくとういことを紹介しますので、早速準備を始めましょう。

## 1 災害情報の収集方法を確認しましょう

様々な手段で災害情報を入手できるよう、準備しておきましょう。

### 市公式 SNS



### 防災行政無線

避難情報などの緊急情報を放送します。放送した内容は電話でも案内していますのでご活用ください。



### 安心安全メール

市内の最大震度、避難情報などを配信しますので登録をお願いします。



### 防災ラジオ

防災ラジオは最寄りの高山電機商業組合加盟店の取扱店で借りることができます。また、市では防災ラジオの無償貸与を行っています。ヒッツFMはスマートフォンやパソコンから聴くこともできます。



## 2 ハザードマップを確認しましょう



ハザードマップとは、発生が予測される災害（洪水、土砂災害など）に対し、危険な場所や避難に関する情報を地図にまとめたものです。自宅周辺の危険な場所を事前に確認しましょう。ハザードマップは危機管理課（本庁4階）や各支所で配布しているほか、市（HP）でも確認できます。

## 3 避難先で必要となるものを準備しましょう

避難先での生活に最低限必要なものをまとめておきましょう。できれば家族全員に1つずつリュックサックを準備するのがおすすめです。

## 4 耐震について確認しましょう

建築物の耐震診断および耐震改修工事への補助制度があります。



## 地震時の心得10カ条

### 1 まず身の安全を第一に

転倒の恐れがある家具などからはすみやかに離れ、丈夫なテーブルの下などにもぐり身を守りましょう。

3つの安全確保行動  
「シェイクアウト」



### 6 狭い路地やブロック塀には近づかない

日頃から避難経路の確認、点検をしましょう。



### 2 脱出口の確保

地震の揺れにより、ドアが変形して開かなくなることがあります。あらかじめドアを少し開けておくなど逃げ道を作っておきましょう。



### 7 避難は徒歩で

自家用車での避難はさけ、集団で行動しましょう。



### 3 外へ逃げるときはあわてずに

瓦や看板などの落下物に注意し落ち着いて逃げましょう。



### 8 隣近所と助け合って

日頃から隣近所とコミュニケーションをとり、協力体制を築きましょう。



### 4 すばやく火の始末

その場で火が消せる時は素早く消しましょう。ただし、揺れている時は危険なので揺れがおさまってから消火しましょう。



### 9 協力し合って応急救護

負傷者の手当は地域ぐるみで助け合いましょう。



### 5 火が出たらすぐに消火

火災を防ぐには初期消火が大切です。



### 10 正しい情報を聞く

災害時には誤った情報が流れることがあります。ラジオの情報や市、消防、警察などから正しい情報を入手しましょう。

